

# 笑ってごらん

第 523 号 H. 27. 9. 15 発行

～今日のことば～  
 誰でもできるかもしれない「仕事」を与えられたら、そのときこそ、誰にもできない「仕事」にしてやろうと思いなさい。(糸井重里)



◇◆今月 10 日に「50 年に一度」とされる記録的豪雨により鬼怒川の堤防が決壊、広い範囲で浸水被害があった。茨城県常総市では 2 名死亡、昨日朝の時点で未だ 15 名の行方がわからない状況。警察・消防・自衛隊をはじめ 2,000 人態勢による捜索活動が行われているとのこと。家屋が流される様子や濁流に呑み込まれて孤立してしまった人々が、家屋の屋根・ベランダなどからへりて救助される様子を映像ニュースで観るにつけ、東日本大震災での津波被害を思い出した。この豪雨、中部地方に上陸し日本列島を横断した台風、ならびに同時期太平洋上にあり北海道に接近したもう一つの台風の影響で、南洋から日本列島に湿った空気が強く流れ込み、急速に雲が発達し雨を降らせたものという。その後も避難所への救援物資が間に合わない状況が起こっているようで心配である。 ◆実は、私の大学時代の友人が茨城県古河市に住んでおり、堤防決壊当初の報道ではこの古河市も避難勧告地域にしてされていた。早速友人にメールを送り安否を問い合わせた。しかし、一昼夜経過しても返事が返ってこない。沈鬱な気持ちになっていた 2 日後の朝 5:30 頃「大丈夫。心配してくれてありがとう」の返信。どうやら彼の自宅は川から離れているらしく、避難勧告区域ではなかったとのこと。ただ、停電が続いて返信が遅れたと。いずれにせよ、無事で良かった。 ◆12 日早朝には関東地方で震度 5 の地震。首都圏でかなりの交通に影響が出た。そして、昨日 9:43 頃、阿蘇中岳第一火口で噴火があり、噴煙は 2,000m まで上がったという。全て自然のなせる業ゆえ私達人間にはどうすることもできないが、このところ自然災害が多いような気がするのは私だけであろうか。自然の脅威を前にしては人間の存在などひとたまりも無い。備えを万全にしなければなるまい。 ◇◆本校の体育大会のことは下段『感謝道』に書くとして、翌 13 日は近隣中学校の体育大会だった。校長・教頭で手分けして 6 校来賓として訪れた。中学生の真摯な姿もまたいいものである。気が付けば、前日に増して日焼けした肌が痛い。



～．

## 感謝道

◇◆12 日の体育大会、お疲れ様！ 素晴らしい一日になったことに大感謝。まずは会場設営について。8 月末の台風被害調査の頃にはトラックにも草・苔が生え、土がガチガチに堅くなっていた。「このままでは危険」とトラクターで表面を掘り起こし、その後ローラー車で転圧。周囲の溝付近は人海戦術でもって伸びた芝を切り、溝に流れ込んだ土を上げた。フィールドならびにトラック外の芝面についてはスクールバス運転技術員の皆さんが事前に芝刈りをしてくださっていた。予行日には見違えるようなグラウンドに変わっていた。次に、合同体育。カレンダーの都合上、昨年より長めに練習日をとることができた訳だが、9 月 1 週目は雨ばかり。体育館・武道館・教室での活動が多く、位置どり等できずに苦労した由。しかし、2 週目は打って変わって晴れ尽くし。「熱中症者が続出するのでは？」との心配をしながら、順調に進む練習を眺めていた。ただ、今年も気温が低く、しかも、風のある日が多かったために、当日を含めて体調不良者も少なくホッとした。 ◆行進・マスゲーム・応援合戦・リレーなど挙げていけばキリが無いが、それぞれの場面に於いて「限りなき挑戦～道はぼくらの後ろにできる～」のテーマにふさわしい取り組みが随所に見受けられた素晴らしい体育大会であった。「お？やればできるじゃん」、率直にそう思った次第。「練習の時からもう少し協力しておいてくれたら、もっと良いものが作れたらどうか…」なんて欲張りか？ 来場者を含め、沢山の笑顔に溢れていた。